

◎昭和48年度第5回理事会議事録(48.10.26)出席者：飯田会長，荒木，内田，坂野(委任状)，横道(委任状)の各副会長，下村専務理事，足立，赤野(委任状)，石上，市田，大久保，大塚(委任状)，近藤(委任状)，佐藤(委任状)，田辺(委任状)，椿，長尾，浜(委任状)，林(委任状)，富士野(委任状)，福岡，松本，三浦，水越，室田，吉田(委任状)の各理事，渡辺監事。議事録署名理事の決定：飯田会長，下村専務理事，水越理事。A. 報告事項：1) 会計報告：下村専務理事から概略説明があり，了承。2) 各種委員会その他報告：説明を省略して了承。3) 会務担当(調査研究)理事報告：下村専務理事から，去る10月20日(土)に会務担当(調査研究)理事会を開催し，大学土木教育，高校土木教育研究および視聴覚教育の各常置委員会委員長および幹事長の出席を求めて，委員会運営上の諸問題について意見交換を行なった旨の報告があり，各委員会の主な意見として大要次のような紹介があった。

高校土木教育研究：一般的に教員および生徒の素質低下の傾向にあるので，土木としては優秀な者を集めたい。なお，毎年教員の研修会を行なっているが，これについて学会の応援を願いたい。

視聴覚教育：創立60周年記念事業の一環として土木PR映画を作ることにしている。

大学土木教育：工専の場合も高校土木と同様問題をかかえているので，委員構成を変えて検討をしてゆきたい。

次いで，福岡および足立理事から補足説明があった後，各理事間の意見交換が行われ，了承。4) 会務担当(編集出版，経理)理事報告：下村専務理事から，去る7月27日開催の第2回理事会においてさらに検討することとされた土木史委員会(仮称)設置の要望について，本日，会務担当(編集出版，経理)理事会を開催し，要望者日本土木史編集委員会から高橋裕委員の出席を求めて検討したが，その審議経過等については議事と重複するため議題3において改めて説明したい旨の報告があり，了承。B. 協議事項：1) 学会誌編集方針の検討について：下村専務理事から，去る9月28日開催の第4回理事会において次回理事会で検討することとされた学会誌の編集方針について，本日特に天野会誌

編集委員会委員長の出席を求めたので直接説明を伺うことにしたいと提案があり，次いで天野委員長から資料により種々説明があった後，種々質疑応答が行なわれた結果，委員会側の方針を了承。

2) 定款調査委員会(仮称)の設置について：下村専務理事から，本件は前回(第4回)理事会における水越理事の提案に係るものである旨の説明があり，次いで水越理事から，現行定款においては会長の任期，専務理事の任務，理事の選出方法，構成分野その他諸々の問題点があるので，委員会等の機関を設置して検討することとしたい旨の提案の趣旨説明があった後，種々論議された結果，委員会を設置することとし，その構成その他具体的事項については会務担当(総務)理事会で素案を作成のうえ次回理事会で審議することに決定。3) 土木史委員会(仮称)の設置について：下村専務理事から，本日開催の会務担当(編集出版，経理)理事会における審議経過概要および結論的意見としては趣旨は理解できるが具体的事項については日本土木史編集委員会においてさらに検討することとなった旨の説明があり，論議された結果，会務担当理事会の意見のとおり処理することに決定。4) 昭和49年度科学研究費補助金の配分にかかる審査委員候補者の推薦について：下村専務理事から，概要説明および本理事会開催前に大学関係理事の参集を求め協議のうえ推薦原案を作成した旨の報告があり，異議なく原案どおり推薦することに決定。なお，来年度の推薦の際は，今年度の推薦関係に必ずしもこだわらないことを了承。5) 東レ科学技術研究助成候補者の推薦について：下村専務理事から，本件は財団法人東レ科学振興会からの依頼に係るものであり，学会から関係大学および研究機関へさらに推薦方を依頼したところ，1件の推薦要望の回答があった旨の説明があり，論議された結果，土木学会として推薦することに決定。6) その他：① 会員入退会について；下村専務理事から概略説明があり，異議なく承認。② 次の理事会について。

◎各種委員会

(1) 土木建造物の取替標準に関する研究委員会一般事項分科会(48.9.3)出席者：関係者8名。議事：一般事項に関する検討。

(2) 鋼構造委員会鋼材規格小委員会(第5回)(48.9.3)出席者：奥村委員長，ほか13名。議事：1) 鋼板の形状，寸法とその許容差に関するアンケートについ

て。2) 本州四国連絡橋用の鋼。

(3) 視聴覚教育委員会特別小委員会(48.9.3)出席者：鈴木委員長，水田幹事長，ほか3名。議事：「60周年記念映画作成」について打合せ。

(4) 本州四国連絡橋綱上部構造研究小委員会塗装分科会塗装仕様書原案作成班打合せ(48.9.4)出席者：関係者12名。議事：塗装仕様書原案のとりまとめ。

(5) コンクリート標準示方書改訂小委員会第6分科会(48.9.4)出席者：山崎主査，ほか7名。議事：コンクリート示方書改訂小委員会のうち練り混ぜ，打込み，養生，仕上げについて審議。

(6) 本州四国連絡橋綱上部構造研究小委員会(第5回)(48.9.5)出席者：奥村委員長，ほか27名。議事：1) 昭和47年度報告書について。2) 昭和48年度各分科会中間報告。3) 本州四国連絡橋綱上部構造設計基準について。

(7) 海岸工学委員会編集小委員会(48.9.5)出席者：尾崎委員長，堀川幹事長，服部編集小委員長，ほか10名。議事：1) 海岸工学講演会の今後の運営方法について。2) 海岸工学講演会論文集の今後の出版方法について。

(8) 土木建造物の取替標準に関する研究委員会斜面およびのり面分科会(48.9.6)出席者：関係者16名。議事：斜面およびのり面に関する検討。

(9) 鋼構造委員会鋼構造進歩調査小委員会(第6回)(48.9.6)出席者：小西委員長，ほか5名。議事：1) ヨーロッパにおける高張力鋼について。2) 斜張橋文献抄録集について。

(10) トンネル工学委員会打合せ(48.9.6)出席者：藤井委員長，住友運営小委員会委員長，ほか5名。議事：1) トンネル工学委員会委員長の交代。2) 今後の委員会の運営について。

(11) 青函トンネル土工研究委員会第3回土圧小委員会(48.9.6)出席者：嶋小委員長，ほか13名。議事：注入後の試験結果について。

(12) 文献調査委員会(48.9.6)出席者：伊藤委員長，ほか7名。議事：1) 会誌58巻10号登載抄録について。2) 紹介記事について。3) 解説記事について。4) その他。

(13) コンクリート標準示方書改訂小委員会第4分科会(48.9.7)出席者：後藤主査，ほか7名。議事：コンクリート標準示方書改訂のうち鉄筋および構造細目に関する条項の審議を行なった。

(14) 琵琶湖の将来水質に関する調査小委員会打合せ(48.9.7)出席者：関係

者7名。議事：報告書のとりまとめ作業を行なった。

(15) 下水汚泥の処分方法に関する研究小委員会海洋処分に関する分科会(48.9.8) 出席者：新田主査，ほか7名。議事：報告書のとりまとめ。

(16) 土木建造物の取替標準に関する研究委員会(48年度第1回)(48.9.10) 出席者：沼田委員長，ほか44名。議事：最終報告書のまとめ方の決定および原案説明と討議。

(17) 耐震工学委員会第1回常任委員会(研究会)(48.9.11) 出席者：岡本委員長，ほか49名。議事：1) 研究会；① マナグア地震調査報告/建設省 大久保忠良氏・科学技術庁 稲葉誠一氏，② 根室沖地震調査報告/北海道大学 芳村仁氏。2) 連絡ならびに協議事項：① 全国大会研究討論会(耐震関係)について，② 関東地震50周年記念地震工学シンポジウムについて，③ 土木学会誌投稿原稿について，④ 今後の研究会のテーマ等について。

(18) 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会製作分科会(第3回)(48.9.11) 出席者：堀川主査，ほか9名。議事：1) 責任施工について。2) 今後の方針について。

(19) 岩盤力学委員会“土木技術者のための岩盤力学”改訂小委員会幹事会(48.9.11) 出席者：関係者8名。議事：1) 提出原稿の確認。2) 各章の編集状況について。3) 今後のとりまとめ方法，刷上ページ数等について。4) その他。

(20) 原子力土木委員会耐震部会打合会(48.9.12) 出席者：関係者9名。議事：報告書Ⅳの原稿審議。

(21) 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会疲労分科会(第8回)(48.9.12) 出席者：関係者6名。議事：疲労に関する検討。

(22) 建設業に関する懇談会第2回幹事会(48.9.12) 出席者：山口幹事長，ほか11名。議事：積算について。

(23) 視聴覚教育委員会特別小委員会(48.9.12) 出席者：鈴木委員長，水田幹事長，ほか5名。議事：創立60周年記念映画製作について。

(24) 行事企画委員会幹事会(48.9.13) 出席者：森委員長，千秋副委員長，ほか2名。議事：1) 夏期講習会の報告。2) 過去5カ年の講習会，研修会，シンポジウムについて調べ行事企画の活動について検討。

(25) 原子力土木委員会立地部会沖合立地分科会(48.9.13) 出席者：山田主

査，ほか3名。議事：今後の沖合立地分科会の活動方針について。

(26) 海洋コンクリート構造物小委員会幹事会(48.9.13) 出席者：関係者9名。議事：今後の調査方針について。

(27) 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会塗装分科会(第26回)(48.9.13) 出席者：佐藤主査，ほか8名。議事：1) 塗装，塗料に関する検討。2) 塗装，塗膜関係の現場見学。

(28) 太径鉄筋小委員会幹事会(48.9.14) 出席者：河野副委員長，ほか12名。議事：今後の運営方針について。

(29) 学会誌編集委員会書評小委員会(48.9.14) 出席者：西谷委員長，ほか7名。議事：1) 受付図書査読。2) その他。

(30) 環境問題小委員会廃棄物分科会(48.9.17) 出席者：関係者3名。議事：固体廃棄物の調査研究について。

(31) 環境問題小委員会(48.9.17) 出席者：松本委員長，南部副委員長，ほか6名。議事：第1回環境問題シンポジウムについて。

(32) 学会誌編集小委員会(48.9.17) 出席者：天野委員長，中村幹事長，ほか12名。議事：1) 経過報告。2) 受付論文査読方式協議。3) 受付論文査読。4) 学会誌49年2月号編集。5) 次回分中絵，講座，表紙デザイン等用企画協議。6) その他。

(33) 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会塗装分科会塗装仕様書原案作成班打合会(48.9.18) 出席者：関係者12名。議事：塗装仕様書原案のとりまとめ。

(34) 本州四国連絡橋耐震研究小委員会第13回委員会(48.9.18) 出席者：久保委員長，ほか22名。議事：1) 昭和48年度小委員会，分科会構成について。2) 議事録の確認。3) 今年度検討事項について。4) その他。

(35) 昭和48年度第1回吉田賞選考委員会(48.9.18) 出席者：関係者15名。議事：1) 委員会の構成について。2) 吉田賞選考委員会内規について。3) 吉田賞募集要項について。4) 吉田研究奨励金募集要項について。5) 吉田研究奨励金小委員会構成について。6) 昭和49年度予算原案作成について。7) 今後の日程について。8) その他。

(36) トンネル工学委員会運営小委員会(48.9.18) 出席者：住友委員長，ほか9名。議事：1) 経過報告。2) トンネル工学委員会運営について。3) 第7回トンネル工学に関するシンポジウムについて。4) 国際トンネル協会および国内

トンネル協会設置の件について。

(37) 本州四国連絡橋耐風研究小委員会第21回幹事会(48.9.19) 出席者：大久保委員長，ほか11名。議事：1) 耐風設計基準について。2) 耐風実験橋について。3) 風洞試験基準について。

(38) 論文編集委員会第1小委員会(48.9.19) 出席者：岡内主査，ほか11名。議事：1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付論文。4) 主査幹事会報告。5) その他。

(39) 科学技術庁委託研究地下立地安全性研究班(48.9.20) 出席者：丹羽主査，ほか6名。議事：1) 空洞内の想定事故時の温度・圧力。2) 地盤・コンクリートの核種輸送に関する物性。3) 核種輸送に関するFEMの数式の再吟味。4) 非常透水計算コードの説明。5) 周辺地盤内の温度・ガス圧分布の計算コード。

(40) 橋梁用マスコンクリート小委員会(48.9.20) 出席者：園分委員長，ほか24名。議事：1) 受託研究の概要について。2) 委員会構成について。3) 本四公団におけるマスコンクリートの現況について。

(41) 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会塗装分科会(第27回)(48.9.20) 出席者：佐藤主査，ほか10名。議事：1) 塗料規格(案)の検討。2) 塗装仕様書(案)の検討。

(42) 沈埋トンネル耐震設計研究会委員会幹事会(48.9.20) 出席者：田村幹事長，栗林，土田の両主査，ほか17名。議事：沈埋トンネル耐震設計指針原案審議。

(43) 鋼構造委員会鋼構造架設小委員会第10回幹事会(48.9.20) 出席者：菊池委員長，ほか8名。議事：鋼構造架設の現況と問題点(学会誌投稿原稿)のとりまとめ。

(44) トンネル工学委員会旧シールド工法小委員会(48.9.20) 出席者：関係者24名。議事：「鋼製，RCセグメントの標準化」最終原案の承認。

(45) 論文編集委員会第5小委員会(48.9.20) 出席者：武田主査，ほか7名。議事：1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿。4) 主査幹事会報告。5) その他。

(46) 岩盤力学委員会第3分科会(第8回)(48.9.21) 出席者：川本主査，ほか7名。議事：1) 前回議事録の確認。2) 運営委員会経過報告。3) 研究会開催について。4) 原位置岩盤の変形試験法の基準(案)について。5) 岩盤力学文献

目録作成について。6) 原位置せん断試験法の基準(案)作成について。7) その他。

(47) 論文集編集委員会第3小委員会(48.9.21)出席者:稲田主査,ほか8名。議事:1)前回小委員会報告。2)査読報告。3)新規受付論文。4)主査幹事会報告。5)その他。

(48) 昭和48年度第1回論文賞選考委員会(48.9.21)出席者:関係者17名。議事:1)委員会の構成について。2)論文賞選考委員会内規について。3)前年度からの申送事項について。4)論文賞および論文奨励賞募集要項について。5)今後の日程について。6)その他。

(49) 論文集編集委員会第4小委員会(48.9.21)出席者:松本主査,ほか3名。議事:1)前回小委員会報告。2)査読報告。3)新規受付原稿。4)主査幹事会報告。5)その他。

(50) 衛生工学委員会幹事会(48.9.22)出席者:杉木幹事長,ほか5名。議事:第10回衛生工学研究討論会について。

(51) コンクリート標準示方書改訂小委員会第3分科会(48.9.22)出席者:岡田主査,ほか10名。議事:コンクリート標準示方書改訂のうち骨材に関する条項の審議を行なった。

(52) 示方書改訂小委員会(48.9.25)出席者:国分委員長,ほか41名。議事:コンクリート標準示方書改訂につき集中審議を行なった。

(53) 岩盤力学委員会第1回研究会(48.9.25)出席者:水越委員長,ほか41名。議題:講演-1 覆りの浅いトンネルの掘削について-山陽新幹線北九州トンネル- / 国鉄下関工事事務所戸畑工事事務所長飯塚一力氏,講演-2 武蔵野南線生田トンネルの施工について / 日本鉄道建設公団東京支社工事第1部長重松治氏

(54) 論文集編集委員会第2小委員会(48.9.25)出席者:土屋主査,ほか9名。議事:1)前回小委員会報告。2)査読報告。3)新規受付論文。4)主査幹事会報告。5)その他。

(55) 示方書改訂小委員会(48.9.26)出席者:国分委員長,ほか38名。議事:コンクリート標準示方書改訂につき集中審議を行なった。

(56) 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会座風分科会(第15回)(48.9.26)出席者:福本主査,ほか5名。議事:補剛材付圧縮板の設計要領(案)について。

(57) 昭和48年度第1回田中賞選考委員会(48.9.26)出席者:村上委員長,

ほか11名。議事:1)委員会の構成について。2)田中賞選考委員会内規について。3)前年度からの申送事項について。4)田中賞募集要項について。5)昭和49年度予算原案作成について。6)今後の日程について。7)その他。

(58) 論文集編集委員会主査幹事会(48.9.26)出席者:久野委員長,稲田副委員長,岡内,土屋,松本,武田の各主査,ほか3名。議事:1)前回議事録の確認。2)各小委員会報告。3)論文報告集第220号登載論文について。4)返却論文の経過報告について。5)その他。

(59) コンクリート標準示方書改訂小委員会(48.9.27)出席者:国分委員長,ほか18名。議事:コンクリート標準示方書改訂につき集中審議を行なった。

(60) 学会誌編集委員会59巻3月号編集打合せ(48.9.27)出席者:関係者4名。議事:1)学会誌49年3月号の特集目次原案作成協議。2)特集は空港を主題として扱う。

(61) 昭和48年度第1回表彰委員会(48.9.27)出席者:飯田委員長,ほか13名。議事:1)土木学会表彰制度の概要説明。2)委員会の構成について。3)内規について。4)論文・吉田・田中各賞選考委員会報告。5)論文・吉田・田中各賞募集要項の決定。6)功績・技術両賞募集要項の決定。7)今後の日程について。8)その他。

(62) 原子力土木委員会耐震部会打合せ(48.9.28)出席者:関係者8名。議事:報告書IVの原案審議。

(63) 海洋コンクリート構造物小委員会第2分科会(48.9.28)出席者:吉田主査,ほか6名。議事:分科会運営方針について。

(64) 海外活動委員会幹事会(48.9.28)出席者:吉越委員長,赤木幹事長,ほか11名。議事:1)前回委員会報告。2)Civil Eng. in Japan, 1973年版のとりまとめについて。3)研究会の件。4)シンポジウムの開催要領。5)その他。

(65) 視聴覚教育委員会(48.9.29)出席者:水田幹事長,ほか10名。議事:創立60周年記念映画製作について。

◎その他

(1) 昭和48年度夏期講習会(48.9.6~7)

場 所:厚生年金会館ホール

議 事:講演数:10題

参加者:598名

(2) 海洋鋼構造物設計指針(案)解説講習会(48.9.13)

場 所:ニッショーホール

参加者:324名

講演数:8題

支 部 だ よ り

◎東北支部

(1) 学生見学会(東北学院大学, 48.11.15)

見学先:北上川大堰工事, 樽水ダム工事, 関上大橋工事, 東日本コンクリート(株)PC工場

参加者:60名

(2) 学生映画会(日本大学, 48.11.10)

映画①みんなの下水道, ②土石流, ③合成桁実験, ④マックス工法, ⑤その他

(3) 第5回昼食会(49.11.13, クローバー)出席者:鈴木支部長, ほか19名。講演:材料力学の最近の問題/東北大学佐武正雄教授。事務局報告:①賛助会員増強中間報告。②年間行事について。③支部事務局移転完了報告。④その他。

◎関西支部

(1) 長スパン橋梁建設に関する懇話会-(第4回)上部工の製作・架設上の問題点について(現地見学併催)(48.9.6, 第1大阪湾ビル)

問題点提起者:

阪神高速道路公団大阪第3建設部

南港工事事務所工務係長 宇藤 滋

同上設計課第3設計係長 水元義久

討論の司会:

神戸大学教授工学部 工博 西村 昭

阪神高速道路公団大阪第3建設部

南港工事事務所長 松橋敦保

参加者:62名(参加費:無料)

(2) 第6回(昭和48年度)業務研究発表会(48.8.29, 大阪科学技術センター)

共催:建設コンサルタンツ協会大阪支部, 建設技術資料センター

後援:土木学会関西支部

業務研究発表講演:5題, 研究委員会報告:6題(25小題目), 映画・スライド:27編

参加者:429名

(3) 第78回騒音振動委員会(48.8.21, 土木学会関西支部)出席者:庄司幹事長, ほか10名。

(4) 騒音振動委員会幹事会(第75回)(48.8.21, 土木学会関西支部)出席者:庄司幹事長, ほか5名。

(5) 第3回都市水文委員会(48.8.20, 土木学会関西支部)出席者:岩佐委員長, ほか11名。

(6) 橋りょう下部構造診断委員会
第1・2小委員会(第5回)(48.8.28,
土木学会関西支部)出席者:後藤委員長,
ほか11名。

(7)「土と基礎の事故防止に関する諸
問題」講習会打合せ(第1回)(48.8.29,
土木学会関西支部)出席者:土木学会,
土質工学会より関係者7名。

(8) 職員プール制懇談会(第1回)
(48.8.27, 土木学会関西支部)出席者:
室田幹事長, ほか5名。

(9) 都市水文委員会委員交替(48.9.
3)

前任者: 山口基郎 建設省河川局開発課長補
佐へ転出, 昭48.7.16 発令

後任者: 豊田高司 建設省近畿地方建設局河
川計画課長に委嘱

(10) 騒音振動委員会幹事委嘱(追加)
(48.9.3)

毛利正光 大阪大学教授工学部土木学教室

(11) 講習会「仮設計画の基礎」(48.
9.26, 大阪科学技術センター)

主催:(社)土木学会関西支部

協賛:(社)土質工学会 関西支部, 大
阪建設業協会, (社)建設コンサルタン
ツ協会大阪支部, 建設技術資料センター

講演題目:4題

参加者:326名

(12) 映画の夕(48.9.26, 大阪科学
技術センター)

上映映画:2編

参加者:53名

(13) 第2回商議員会(48.10.9, 好
文倶楽部)出席者:松尾支部長, 室田幹
事長, ほか33名。

(14) 第4回幹事会(48.10.9, 好文
倶楽部)出席者:松尾支部長, 室田幹事
長, ほか12名。

(15) 総務・会計担当幹事会(第3回)
(48.9.26, 土木学会関西支部)出席者:
松尾支部長, 室田幹事長, ほか8名。

(16) 企画担当幹事会(第2回)(48.
9.18, 土木学会関西支部)出席者:松尾
支部長, 室田幹事長, ほか11名。

(17) 編集担当幹事会(第3回)(48.

9.18, 土木学会関西支部)出席者:松尾
支部長, 室田幹事長, ほか6名。

(18) 出版物編集担当打合せ(第2回)
(48.9.18, 土木学会関西支部)出席者:
松尾支部長, 室田幹事長, ほか8名。

(19) プール制度運営担当打合せ(第
2回)(48.9.26, 大阪科学技術センター)
出席者:松尾支部長, 室田幹事長, ほか
2名。

(20) 橋りょう下部構造診断委員会第
3小委員会(第6回)(48.9.19, 土木学
会関西支部)出席者:後藤委員長, ほか
7名。

(21) 橋りょう下部構造診断委員会第
1・2小委員会(第6回)(48.10.9, 土
木学会関西支部)出席者:後藤委員長,
ほか12名。

(22)「土と基礎の事故防止に関する
諸問題」講習会打合せ(48.9.17, 京都
大学防災研究所)出席者:土木学会, 土
質工学会より関係者6名。

編集後記

河村忠男・記

本年も本当にいろいろなことがありま
した。

年中行事化したハイジャックも大変で
したが, 100余の死者を出した熊本市の
デパート火事は, 本当にお気の毒なこと
でした。おくやみ申し上げます。

この年, その多くの話題は, 引続いて
関心を呼んだ環境問題にありました。こ
の問題は土木の分野にも多くの影響を及
ぼし, 土木工学の再生への警鐘ともなり
得たものと, また, 不幸を幸へと変える
良い機会であったと理解しております。こ
のような大変なときに, 中東から突然石
油騒動の火矢が全世界に放たれ, そのシ
ョックをわが国は真正面から受けたこと
により, 実に騒然たる年の瀬を迎えてお
ります。小はトイレットペーパー騒動か
ら大はビックプロジェクトの着工延期ま
で, これほど不安定な世情を背に年を越

さなければならなかったことは, ここ久
しくなかったこと, 20代の方々には初
めての経験, 30代の方々には幼時のほ
ろにがい思い出, 40代の方々にはこの
苦境を乗り越えられるという変な自信,
50代以上の方には遠い青春のおぼろ気
な残景……を含めて。どうこの苦境をの
り越えるかに民族の知恵がかかっている
ともいえます。

紙がないといわれております。本をどの
程度まで出せるのか心配になってしまし
た。弱小資本で, 有意義な出版を続けて
いる専門書の出版活動がおびやかされて
おります。

この間まで1ページ当り10円前後で
お届けできた工学書類が, ここ1年ほど
の間に20円台に入りつつあります。い
かにコピー万能の時代とはいえ, 今後の
研究活動等に支障をきたさなければよ
しいのですが, もっとも, 少しは情報量
が減少して, ちょうどよいとおっしゃ
れる向きもございますが……。

学会誌の編集のほうも, おかげさまに

て順調とまでは参りませんでしたが, 年
13冊の発行を無事終ることができまし
た。この間, ご執筆そのほかでお世話に
なりました関係各位に, 厚く御礼申上
ます。各種の特集記事, 海外シリーズの連
載等に加えまして, ソノシートを制作,
付録としてお届けできたことを飲んでお
ります。

編集作業ということは実に因果な商売
でして, 12月に新年号から2月号の制
作をしており, 企画等に至っては来年の
夏の記事を立案, 内部調整に入っており
ます。季節感のないこと, 都会の花屋の
店頭のように。また, 各聯域から参画
いただいております編集委員および幹事
諸兄は, 各位のお仕事を終えられた後で
の夜半に及ぶご協力, 本当にありがたい
ことと多謝いたしております。

新年号に「20年未来の土木」, 3月号
は「空港」の特集号, 2月号は投稿論文
を中核とする一般号としてお届けする予
定であります。

良いお年をお迎え下さい。